

会 議 録

会議等名	平成 24 年 第 1 回海老名市外部評価委員会
日 時	平成 24 年 2 月 16 日 (木) 14 : 55 ~ 16 : 50
場 所	政策審議室
出席者	出席者：大治委員長、諏訪副委員長、成瀬副委員長、小島委員、古河委員、牛村委員、門倉（久）委員、門倉（正）委員、石川委員、斉藤委員、古谷委員（11名） 欠席者：谷川委員（1名） 事務局：清水市長室長、二見市長室次長兼政策経営課長、告原企画政策係長兼行政経営係長、本杉主査（書記）

<会議進行：二見市長室次長>

1 開会

二見市長室次長

2 あいさつ

(1) 大治委員長

新しいメンバーになって2回目の会議となり、本日の議題にもあるように、このメンバーで評価を行う事業を決めていきたいと思っておりますので、ご審議の程、よろしくお願ひしたい。

(2) 清水市長室長

現在、平成 24 年度の予算がまとまり、2 月 24 日の記者会見で公表後、27 日から始まる市議会定例会へ提出する段取りとなっている。その公表に先立ち平成 24 年度予算の概要を口頭にて説明させていただく。（内容については省略）

平成 24 年度に入り、今後は後期基本計画策定が本格化する中で、当外部評価委員会による行政評価に対する期待も高まっている。

そうした中で本日は、平成 24 年度の行政評価実施方針、補助金・奨励金等の見直しについてご審議いただく予定なので、よろしくお願ひしたい。

<議事進行：大治委員長>

3 議 題

(1) 平成 24 年度海老名市行政評価実施方針（案）について

行政実施方針（案）については配布資料 1 により、また、平成 24 年度外部評価対象事業（案）については配布資料 2-1、2-2 により、それぞれ事務局から説明を行った。

<主な質疑応答や意見>

【委員】 平成 24 年度行政評価調書 3 の中で進捗評価の欄が削除されているが、事業の進捗ということで、今回は活用しないということか。

【事務局】 平成 23 年度において初めて進捗評価を実施した。この進捗評価は行政評価結果を踏まえて、当該年度（23 年度）の 9 月末時点での各事業の進捗を確認し、次年度への見直しや方向性を整理・検討するための記入欄とし

て、活用していた。しかし、今回のスケジュール（案）では7月に担当部課において見直し等による次年度の方向性を整理・検討するため、平成24年度に使用する行政評価調書からは削除させていただいた。

【委員長】 行政評価調書3の「平成25年度における市としての考え方」については、誰が実際に行うのか。

【事務局】 これまでは、担当部課評価、内部評価、外部評価と3者で異なった評価となった場合の取り決めが明確になっていなかったため、最終的な判断は担当部課に委ねていたところがあった。このため、行政評価結果を踏まえて、各事業の方向性を最終的に市として決定する必要がある場合に活用する欄として今回追加させていただいた。

また、市として最終的な方向性を判断する場合は、事務局（政策経営課）で原案を作成し、市内部で協議した上で決定をしていく。

なお、最終的な判断結果については、外部評価委員会に対してフィードバックさせていただく予定である。

【委員】 外部評価の対象となっていない事業においても、担当部課と内部評価の結果が異なった場合、第三者機関としての外部評価委員会の評価が意義あるものとして必要となると思うが、この点について現状ではどう考えているのか。

【事務局】 担当部課評価、内部評価を行った事業を外部評価委員会で実施するのが効果的であると思われるが、行政評価結果を着実に次年度へ反映させるためには、時間的な制約から内部評価と外部評価を同時並行で実施せざるを得ない状況となっている。

【委員】 今回、事務局より平成24年度の主要事業（73事業）の中から27事業を提示されたが、どのような意図で選定したのか。前年度は400以上ある実施計画事業の中から、外部評価委員の話し合いにより決定した経緯がある。本来、実施計画事業を全て提示した上で外部評価委員により決定すべきであり、最初から27事業に絞って本委員会に提示するのは事務局としてやりすぎではないか。

【事務局】 外部評価委員の言われることは正論であり、本日、外部評価の対象として27事業を選定して提示した件については、事務局として行き過ぎたと思っている。

今回、27の主要事業を提案させていただいた理由については、第四次総合計画の前期基本計画が平成24年度で終了し、来年度から後期基本計画の本格的な策定作業に入っていく。当然、外部評価等の行政評価結果を盛り込んだものとして秋口頃を目処に後期基本計画の策定を完了したいと考えている。

よって、今回提示した実施計画主要事業については、当然、後期基本計画にも受け継がれていく事業又は継続していく事業という観点から、平成24年度の外部評価の対象事業として提案させていただいた。

【委員】 内部評価として平成 22・23 年度に外部評価を実施した事業を後追いで行う計画となっているが、何故、外部評価をした事業を再び内部評価として実施するのか。昨年度は外部評価しない事業を内部評価で行うと事務局より説明を受けた。このままでは、担当部課評価のみで一度も他の評価のチェックを受けない事業が存在してしまうのではないか。

【事務局】 これまでは、外部評価を実施した事業について、その後、内部評価を実施したことは今までになかったと記憶しているが、昨年度の外部評価において、一度評価した事業を次年度にどのように反映されたかを検証するため、一部の事業について、引き続き評価を実施した経緯があった。

そこで、事務局としては、今回、外部評価として一定の方向性が示された事業については、その後、担当部課において、どのように事業展開されているのかを再度、内部評価として、全庁的な視点からチェックしていきたいと考えている。

【委員長】 毎年、外部評価と内部評価を実施することで、全実施計画事業を評価するというのが当初の計画ではなかったのか。

【事務局】 行政評価については、資料 1 の 3 ページに取組の経緯が年度ごとに記載されているが、平成 12 年度から取り組みをはじめ、これまで試行錯誤しながら実施してきている。平成 21 年度には外部評価において施策評価を実施、平成 22 年度には平成 21 年度予算の主要事業を対象に、担当部課評価、内部評価を実施した上で外部評価を取組み、昨年度は内部評価と外部評価と別々な事業を同時並行で実施してきている。

このように、これまで様々な手法を試行しながら取り組んできており、いかに P D C A サイクルを効果的に廻すかを重点に考え、事務局として 27 の主要事業に選定させていただいたので、外部評価委員の皆様で協議していただきたい。

【委員長】 これまでは、外部評価の対象となる年度の主要事業などから選定してきたが、今回は平成 24 年度実施計画の主要事業（73 事業）の中から事務局で 27 事業を選定してきているが、どうして従来の選定方式から変更したのか。

【事務局】 平成 24 年度主要事業については、平成 25 年度から始まる後期基本計画において、いわゆる目玉事業として引き継がれていくものと想定されるため、次年度以降に対する行政評価を織り込みながら、後期基本計画の策定につなげていきたいと考え今回の選定となった。

【委員】 外部評価委員に配布されている「海老名市第四次総合計画実施計画（平成 23 年度～平成 24 年度）に掲載されている事業が 438 事業と思われるが、平成 24 年度については、単年度計画になると事務局より説明があったが、平成 24 年度に掲げる実施計画は 73 の主要事業だけになるという理解でよいのか。

【事務局】 平成 24 年度の実施計画については、特に分かりづらい点があると思われるので、再度説明させていただく。

平成 24 年度は前期基本計画の最終年度であり、単年度として実施計画に位置付けたとしても、実質上、平成 24 年度の予算と同じものになってしまう。これでは意味がないので、平成 24 年度において、新規に実施する事業、これまで取り組んできている中で比較的大規模な事業ものをピックアップして、平成 24 年度における主要事業実施計画として整理している。

よって、これまでの実施計画と今回の主要事業実施計画は主旨的な観点から、少し異なるものと考えている。

【委員】 事務局の説明を聞いていると、外部評価委員会の位置付けに関係するが、これまでは事後評価してきたが、今回からは次年度以降につなげるために計画評価で実施するような感じがする。そうではないのであれば、従来どおり、平成 23 年度の実施計画事業を事後評価すれば、何の問題もない。

しかし、事務局には次年度につなげたいという意図があるから、73 の主要事業の中から選定したのではないか。

【事務局】 行政評価はこれまで通り計画段階での事前評価ではなく、事業の実績などによる事後評価として実施していただきたいと考えている。

これまで議論になっている対象事業の選び方の問題については、今までは予算の主要事業の中から選んできたが、今回は実施計画と行政評価が一体となった中で、平成 24 年度における 73 の主要事業実施計画の中から事務局で選定した事業を外部評価していただきたいという提案である。

【委員】 平成 24 年度は実施計画期間が残り 1 年のため、単年度対象の実施計画を新たに策定し、その内、主要事業として位置付けられものが 73 の事業として理解してよろしいか。また、この 73 事業が市で策定した単年度の実施計画事業という意味合いで捉えて良いのか。

【事務局】 平成 24 年度単年度の実施計画を策定したのではなく、あくまで、主要事業実施計画として策定したものであり、平成 24 年度の実施計画という意味合いでは策定していない。平成 24 年度の実施計画事業は予算事業とイコールである。

【委員】 今回、提案された 27 の主要事業実施計画を外部評価したとして、事務局は何を期待しているのか。

【事務局】 平成 24 年度において、主要事業実施計画として位置付けた事業については、基本的には後期基本計画にも引き続き取り組んでいく事業なので、その事業を評価していただければ、継続していく事業については、ある一定の評価、方向性が得られるものと考えている。平成 25 年度以降も継続して実施していく上で、PDCAを考えていくと、外部評価委員にチェックをしていただき、今後、事業の見直しなどを行いながら、後期基本計画の策定につながることを期待している。

【委員】 後期基本計画につなげていきたいのであれば、次年度以降の事業の計画に対するコメントを外部評価していく必要があるのではないか。

【事務局】 昨年度の行政評価調書3にもあるとおり、外部評価委員会の判断や理由において、次年度以降のご助言をいただいている。今年度も外部評価を行っていただく中で、次年度以降の方向性を含めて評価していただきたい。

【委員長】 これまでの議論を整理すると、どうして、平成24年度の外部評価対象事業として、平成24年度主要事業実施計画を事務局が選定してきた理由も一応理解できたのではないかと思う。

ここで、事務局よりもう一つ「補助金、奨励金等の見直しについて」の議題が用意されている。資料からすると当委員会に、もう一つお願いしたい案件であると思われる。補助金等の問題については、これまでも当委員会で一度実施してはどうかと提案したこともあったので、このテーマ自体は実施する価値はあると思うが、一度事務局から説明を聞いた後に、再度、議論にもどることとしたい。

(2) 補助金、奨励金等の見直し(案)について

配布資料3に基づき、団体運営等補助金に係る目的や効果などを市民感覚による第三者の立場から、外部評価委員会において、行政評価と並行して検証を実施していただくよう、事務局より説明を行った。

<主な質疑応答や意見>

【委員長】 補助金、奨励金の全体の規模として、補助金数や金額はどのくらいあるのか。

【事務局】 現在、各担当課へ調査していて整理中であるが、過去に行った調査では50件前後の補助金があり、補助金総額3億円程度である。ただし、その中には福祉施設等の施設運営費補助も含まれている。

このため、補助金の性質等を十分に精査した上で、関係資料を外部評価委員会に提示していきたいと考えている。

【委員】 補助金等の見直しについては、誰からの要請なのか。すでに市の幹部会議などで外部評価委員会において検証してもらうような方向性の中から依頼されているのか。

【事務局】 本件は市として、補助金の適正化の観点から是非、外部評価委員会で検証をお願いしたいと考えている。

【委員】 今回の補助金等の見直しは、事務事業の一貫として評価の中に加えるのではなく、独立して検証するということか。

【事務局】 そのとおりである。

【委員】 これまでも、予算と計画という議論をしてきたが、主要事業を中心に評

価してきたため、予算のひも付きの補助金についてはあまり見てこなかったが、補助金が充てられているということは重要な事業ということなので、この事業が適正に使われているかを評価することは一理あると思う。

【委員】 今回の検証は、補助金のカットが目的ではなく、あくまでも補助金の適正化という観点から見直しをするという主旨で間違いないか。

【事務局】 ご指摘のとおり補助金のカットを目的にしている訳ではなく、適正化の観点である。

【委員】 法律や条例で定められているもの、国や県の補助金と連動しているものは除くということか。そうであれば、補助金をもらってまで実施すべき事業なのかを判断することも必要となるので、最初から市の方で一方的に対象外としない方が良いのではないか。

【委員長】 補助金、奨励金等の一覧表の中から当委員会で検証する補助金、一定の基準により検証しない補助金がそれぞれわかるような資料を作成すれば問題ないのでないか。

【事務局】 次回までに検証の有無を選定基準により区別した補助金の一覧表を作成する。

<結 論>

- 平成 24 年度外部評価対象事業の選定について
 - ・第四次総合計画実施計画事業（全実施計画事業・平成 24 年度実施計画主要事業を含む）を提示し、外部評価の対象とする事業の選定理由を明確にした上で、次回の外部評価委員会において、平成 24 年度の外部評価対象事業を決定する。

- 補助金、奨励金等の見直しに係る補助金の選定について
 - ・外部評価委員会として、補助金等の見直しに係る検証を事務事業評価とは独立して実施する。
 - ・補助金等の選定にあたっては、団体運営等の補助金、奨励金の一覧表を提示し、その一覧表において選定基準を示した上で、次回の外部評価委員会において、平成 24 年度に検証する補助金等を決定する。

- 平成 24 年 第 2 回海老名市外部評価委員会の日程について
 - ・日 時 平成 24 年 3 月 19 日（月）午前 10 時から
 - ・場 所 海老名市役所 3 階 政策審議室

4 閉 会

二見市長室次長

以 上